

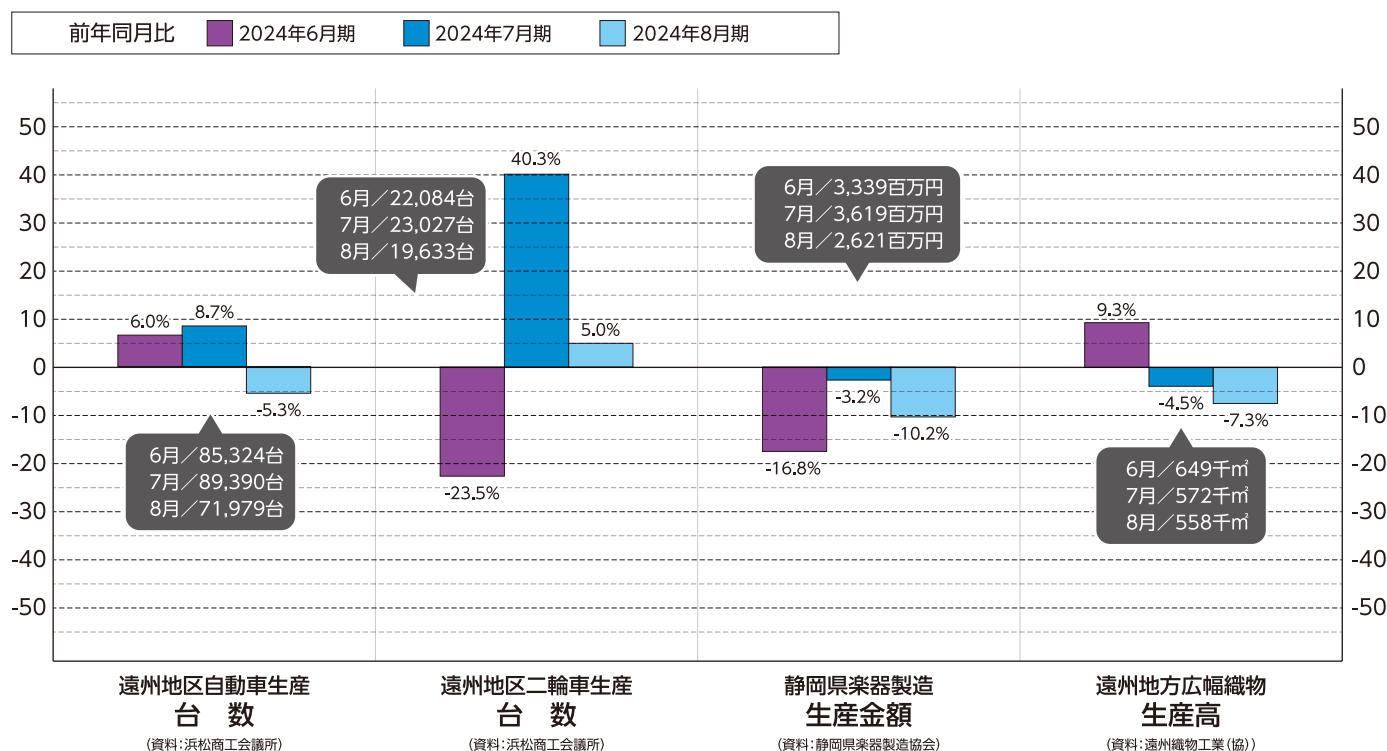
浜松地域の経済動向

2024年
8月を中心に

製造業は夏季休暇などで稼働日数が少なかったことから生産は減少。
非製造業も地震や台風の影響を受けて減少となった。

自動車の生産台数は、小型車の販売終了や輸出向け車種の販売不振が影響し減少となった。二輪車は2カ月連続で前年同月を上回った。楽器は好調だったピアノが落ち込み3カ月連続で前年同月を下回っている。タクシー乗車人員は台風10号の影響を受けて外出機会が減ったことで減少となった。ホテルの稼働率も地震や台風の影響を受けて予約のキャンセルが相次ぎ減少となった。外国為替は7カ月ぶりに円高へと転じ、146.23円となった。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年8月における遠州地区の自動車生産台数は前年比5.3%減の7.1万台となり、7カ月ぶりに前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は1.4%減、小型四輪車は10.3%減、普通自動車は43.8%減となっている。国内向けは5.9%減で7カ月ぶり、輸出は3.5%減で5カ月ぶりの減少となっている。小型車の販売終了や輸出向け車種の販売不振が影響した模様。

二輪車



2024年8月における二輪車生産台数は前年比5.0%増の1.9万台となり、2カ月連続で前年同月を上回った。国内向けは16.5%増、輸出は3.6%増といずれも2カ月連続で前年同月を上回ったが、伸びは鈍化した。排気量別では、50cc以下79.2%増、51cc～125cc以下136.0%増、126cc～250cc以下183.0%増、251cc以上は24.2%減と2カ月ぶりの減少となった。

楽器



2024年8月における楽器生産金額は前年同月比10.2%減の26.2億円となり、3カ月連続で前年同月を下回った。例年8月は夏季休暇等で工場の稼働日数が少なく生産が落ち込む月である。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ34.6%減、電子・電気ピアノ33.1%減、電子オルガン57.4%増、管楽器11.9%増となった。

繊維



2024年8月の生産高は前年同月比7.3%減の558千㎡となり、2カ月連続で前年同月を下回った。8月終盤から春夏衣料向けの生地生産がスタートし、アパレルと直接取引する工場は順調だが、委託生産の工場は小口受注と追加生産なしという傾向が顕著である。また、原材料費・染色加工費・電気代などの上昇が続いており、収益圧迫要因となっている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年8月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比3.8%減の30.6万人となった。運輸収入は、昨年の秋の運賃改定効果があり前年比プラスだが、特に8月は台風10号の影響を多大に受けて、乗車人員は前年比マイナスとなっていた。

観光

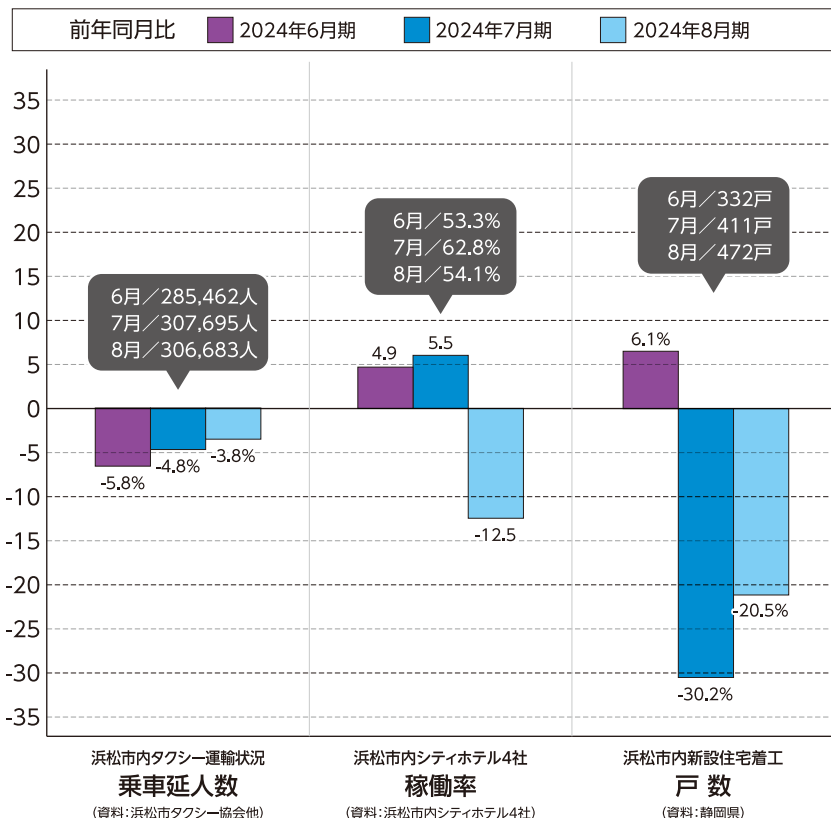


2024年8月の浜松市内ホテルの稼働率は54.1%であり、3カ月ぶりに前年比マイナスとなった。これは、南海トラフ地震臨時情報の発表や台風10号により、キャンセルが増えたことが痛手となった。

住宅着工



2024年8月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比20.5%減の472戸となった。内訳をみると、持家は192戸、貸家207戸、分譲住宅は73戸だった。前年同月との比較では、持ち家が33戸、貸家が67戸、分譲住宅が21戸の減少となり、2カ月連続の減少となっている。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年8月の有効求人倍率は前年同月比0.14ポイント下降の1.13倍となり、前月と変わりなかった。全国(1.23)との比較では0.10ポイント下回っているが、静岡県(1.12)との比較では0.01ポイント上回った。例年、夏季のイベント等で求人は増える傾向にあるが、今年は地震・台風・猛暑により規模縮小や屋外でのイベント中止などで伸び悩んだと思われる。

倒産企業



2024年8月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は43件、金額は3.8億円だった。前年同月との比較では件数16件、金額2.5億円の減少となったが、今年(1月～8月)2番目に多い代位弁済件数となった。仕入れ価格の高騰やエネルギー価格の上昇分を価格に十分転嫁できず、人手不足も重なって代位弁済数は増加傾向にある。

ガソリン価格



2024年8月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり174.9円で前年同月との比較では5.2円減少となり、14カ月ぶりに前年同月を下回った。175円を9カ月ぶりに下回ったが、依然として高値圏で推移している。

外国為替



2024年8月の外国為替は1ドル146.23円となり、前月と比較すると11.83円の円高となり、実に7カ月ぶりの円高となった。7月31日、日銀は政策金利を0.25%引き上げるとを発表したことで円が買われ、円高が進んだ。

